

令和8年度当初予算 概要

令和8年2月
総務市民局

1 令和8年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和8年度 当初予算案(A)	令和7年度 当初予算(B)	増減 (A) - (B)
一般会計	11,490	10,917	573

※職員給与費を除く

2 主要施策



暮らしの安心と人のつながりを未来へ



暮らしの安心を支え、地域の課題に挑む戦略的予算

地域のつながりの再生と強化

地域の課題解決支援

地域の団体間の
連携も促進！

局の垣根を超えて
地域の課題を
解決！



- 新 次の10年・地域づくり先行モデルプロジェクト【9百万円】
- 拡 現場主導・課題即応型地域・人づくり支援事業【53百万円】

サードプレイスの整備

生涯学習センターを
居心地のよい
第3の場所に！

まずは環境の
整備から！



- 新 生涯学習センター『アップデート』事業【8百万円】

デジタルで 地域を支える仕組みづくり

地域に関わる人や団体を
マッチング！

手軽に便利に！



- 新 地域のチカラつなぐ事業【14百万円】

地域とつながる人材育成

若者・学生も
地域で活躍！



学びを通じて
未来の社会の創り手に！

- 新 未来の社会の創り手育成事業【7百万円】


各区のくらしアップ 実感！

区力を活かして
“まち”をアップデート

大学生を巻き込んで
人工衛星宇宙放出
プロジェクト！



その他
全部で
14個の
事業実施！

 区役所発・くらしアップ実感事業【38百万円】

住民票も！印鑑証明も！ 期間限定10円！

証明書はコンビニが
お得すぎる件

やすっ！





 証明書コンビニ交付10円対応事業【44百万円】

安全・安心なまちづくり

安全・安心な街へ一歩前進！

AI防犯カメラを導入し、
客引き行為をAIが「音声で注意」する
新システムを実証実験！




 客引き行為等の適正化に関する条例推進事業【44百万円】  客引き行為等適正化の新たな取組【8百万円】

犯罪被害者等へ途切れない支援を！



ニーズに応じた切れ目ない支援で、
被害者等に安心を届けます！

 「北九州市犯罪被害者等支援条例」推進事業【3百万円】

3 主な事業

「彩りあるまち」の実現

●彩りある「空間」をつくる

新規 ・ 証明書コンビニ交付10円対応事業 44百万円

コンビニ交付の手数料について、令和8年6月から令和9年3月まで、現在の「窓口より100円安い」から「一律10円」という思い切った減額を実施することにより、①利用者負担の軽減、②コンビニ交付の利用率向上、③窓口混雑の緩和を図り、市民サービス向上と行政効率化を実現（例：住民票は窓口300円→コンビニ交付だと10円に）

拡充 ・ 市民課等関連業務事業 276百万円

プロポーザルによる複数年での民間委託契約を行うことで、人員の確保、効率的な運用、経費節減を図るとともに、安定した市民サービスの質の維持及び向上を実現

●彩りある「時」をつくる

新規 ・ 区役所発・くらしアップ実感事業 38百万円

市民の日々のくらしのニーズをまちの最前線で直接触れる区役所の企画立案力を活かし、地域の実情や強みを活かした地域課題解決への取組を推進

「安らぐまち」の実現

●生活基盤の「安心」を支える

新規 ・ 地域のチカラつなぐ事業 14百万円

市民どうしの“互助”を促進するため、個々のスキルや空き時間を地域で役立てる「タイムバンク」の社会実装に向けた調査研究を行う。また、回覧板のデジタル化やLINE活用により地域情報のスムーズな伝達と共有を図る

拡充 ・ 現場主導・課題即応型地域・人づくり支援事業 53百万円

地域活動の振興のため、活動支援や人材育成が各地域の実情に合わせた柔軟な形で行われるよう、これまでの地域づくりや人づくりに関する事業をそれぞれ一本化し、区役所が状況に即して予算を配分できる体制を構築

新規 ・ 次の10年・地域づくり先行モデルプロジェクト 9百万円

次の10年を見据えた地域コミュニティの形を先導するモデル地区を選定し、事務負担の見える化・最適化や、特性を活かした多世代協働のモデル事業を実施

新規 ・ 市民センターみんなのトイレ改修事業 37百万円

市民センターを誰もが身近に感じ、利用しやすい施設にすることを目的に、和式トイレの使用が困難な高齢者や障害者、幼児等が気軽に市民センターを利用できるように、和式トイレの洋式化を推進

新規 ・ 未来の社会の創り手育成事業 7百万円

地域活動へ若者を中心とした層を取り込むことを目的に、生涯学習・社会教育を力強く推進する「コア人材」の育成や、社会教育士やNPO等のネットワーク化による民間人材の活用、ボランティア等に関わる地域の若手人材の発掘、活動に繋がる実践的講座等を行い、地域コミュニティを支える多様な人材の育成及び未来の社会の創り手となる人材の育成を推進

新規 ・ 生涯学習センター『アップデート』事業 8百万円

若年層を中心とした幅広い層への利用促進を図るため、モデルケースとする4館のエントランス等に中高生を対象とした「サードプレイス」を整備し、生涯学習センターのイメージ刷新を図る取組を実施

・ 主要駅周辺への防犯カメラ設置事業 15百万円

各種犯罪の抑止や市民の安心感の醸成を図るため、刑法犯認知件数などを総合的に判断し、主要駅周辺に防犯カメラを設置(令和8年度は5駅の周辺に設置予定)

・ 門司港地域複合公共施設整備事業(門司区役所、門司生涯学習センター) 2,470百万円

門司港地域に点在している老朽化した公共施設を門司港駅に隣接した交通利便性の高い場所に集約し、複合化・多機能化することにより、整備費や維持管理コストを削減するとともに、市民サービスの向上や効率化、地域の活性化を推進

・ 公共施設の維持管理、改修等
(区役所、市民センター、生涯学習センター、本庁舎、旧古河鉱業若松ビル) 1,375百万円

市民にとって身近な施設である区役所や市民センターなどの公共施設を安全にかつ長期に維持していくため、浸水対策や外壁の補修等を実施

●暮らしの「安心」を支える

新規 ・ 「北九州市犯罪被害者等支援条例」推進事業 3百万円

「北九州市犯罪被害者等支援条例」の制定に伴い、広報啓発を行うとともに、市内に住所を有する犯罪被害者等に対して、ニーズを踏まえた各種支援や、途切れない支援による安心感を醸成

新規 ・ 客引き行為等適正化の新たな取組 8百万円

悪質な客引き行為の取り締まり強化のため、新たな手法として、AI防犯カメラを設置し、音声での注意喚起・啓発を実施(実証実験)

拡充 ・ 客引き行為等の適正化に関する条例推進事業 44百万円

北九州市客引き行為等適正化に関する条例に基づき、違反行為者に対して勧告や命令等を行う客引き行為等対策巡視員の任用及び取締りの強化や啓発を行うことで、「安全・安心なまち」を実現し、本市の魅力と活力の向上を推進

その他の取組

・ 未来を動かせ！人財戦略推進事業 4百万円

市政変革推進プランに掲げる「成長を促す人材育成」を実現するため、技術系職員が専門性を磨くための学びの場の提供や、職員が時代の変化に即した新たな知識・スキルの習得を推進するための自己啓発支援などに取組むことで職員のスキルアップによる市政への還元を実現

拡充 ・ 人事給与・庶務事務システム再構築事業 444百万円

人事給与・庶務事務システムの再構築を実施する。老朽化・複雑化した現行システムは、運用コスト増とプラチナ市役所PJでも指摘される職員負担が課題。これを解決し、限られた人員で運用可能な体制の構築、更なる給与計算自動化やペーパーレス化に加え、AIやタレントマネジメント等新機能を活用した人事異動によって戦略的人材育成・配置と業務効率の大幅な改善を実現

【問合せ先】

総務市民局 総務課
荒田(課長)、江口(係長)
TEL 093-582-2102